

Special Exhibition



国立民族学博物館
National Museum of Ethnology

Local cultures

assisting revitalization

10 years since the Great East Japan Earthquake

特別展

2021年

3/4 (木)



5/18 (火)

復興を 支える 地域の文化

— 3・11から10年

再発見、立ち上がる原動力！

国立民族学博物館 特別展示館

主催 国立民族学博物館
 協力 石巻市教育委員会 株式会社ベイエフエム 国文学研究資料館 千史文化財団 富城県石巻市
 後援 朝日新聞社 京都新聞社 神戸新聞社 産経新聞社 日本経済新聞社 毎日新聞社 読売新聞社
 (人間文化研究機構 博物館・展示を活用した最先端研究の可視化・高度化事業)
 開館時間 10時～17時(入館は16時30分まで)
 休館日 水曜日(ただし、5月5日は開館、翌6日は休館)
 観覧料 一般8800円(6000円) 大学生4500円(2500円) 高校生以下無料
 ()は、20名以上の団体料金。大学生等※の授業で利用の方、3ヶ月以内のリビーター、満65歳以上
 の方の割引料金(要証明書等) ※ 大学等は、短大・大学・大学院 専修学校の専門課程
 ■障がい者手帳をお持ちの方は、付添者1名とともに、無料で観覧できます。
 ■本館展示もご覧いただけます。

Special Exhibition

Local cultures

assisting revitalization 特別展

10 years since the Great East Japan Earthquake

3・11から10年

復興を支える地域の文化

未曾有の被害をもたらした2011年の東日本大震災のあと、その復興の原動力としての「地域文化」に大きな注目がよせられました。

地域文化とは、その土地の風土に適合しながらかたちづくられた生活環境、その土地に人が住み続けてきたことで蓄積されてきた歴史、そして、これらの生活環境や歴史の営みのなかで生み出されたくらしの総体であり、「地域で受け継がれてきた生活の記憶」ともいえます。そのため、地域文化は、有形、無形さまざまに受け継がれ、その地域に住む人びとの感情や人生の節目と結びつき、豊かな人間性や創造性を育みます。このことから、地域文化は災害からの復興を支える存在になり得るのです。

しかしながら、日常のくらしのなかでは、地域文化は当たり前の存在であり、ほとんど意識されることがありません。むしろ変化が大きい現代社会のなかでは、容易に忘れ去られてしまう危機に常に直面しています。

そこで本展示では、東日本大震災から10年が経ついま、災害からの復興を支える地域文化をめぐる活動をあらためて振り返ります。そして、豊かな社会の礎となる地域文化の大切さとその継承について考えていきます。

プロローグ：津波の記憶



下道篤行 津波石#05より

第1章：復興を後押しする地域文化の可能性 — 郷土芸能の持つ力



第2章：地域文化を再生する



第3章：災害を契機とした地域文化の再発見



第4章：災害に備えて



稲むらの火 各国語版 編集・発行：アジア防災センター・ADRRN 協力：内閣府(防災担当)

エピローグ：地域文化の継承 — 人と人をつなぐもの



関連イベント

イベントに関する詳細はホームページをご覧ください。

研究公演

3月6日(土) 阪神虎舞みんぱく公演

出演：阪神虎舞
パネリスト：橋本裕之(大阪市立大学都市研究プラザ特別研究員・坐摩神社権禰官)

中川 真(大阪市立大学都市研究プラザ特任教授)
山本和馬(阪神虎舞)
金崎 巨(大槌城山虎舞)
笹山政幸(被災文化遺産所在調査専門調査委員)

コーディネーター：日高真吾(本館教授)
司会：寺村裕史(本館准教授)

5月8日(土) じゃんから念仏踊りみんぱく公演

出演：久之浜大久自安我楽念仏踊継承会
解説：遠藤 諭(久之浜大久自安我楽念仏踊継承会)
司会：日高真吾

映画会

4月10日(土)「願いと揺らぎ」

解説：我妻和樹(映画監督)
司会：日高真吾

4月24日(土)「明日に向けて曳け」

解説：川村清志(国立歴史民俗博物館准教授)
司会：日高真吾

みんぱくゼミナール

3月20日(土・祝) 社鹿半島の民俗誌 —復興キュレーション

講師：加藤幸治(武蔵野美術大学教授)、日高真吾

4月17日(土) 双葉町に就職して—学芸員の視点から

講師：星 洋和(双葉町役場 教育総務課)、日高真吾

5月15日(土) 郷土芸能の持つ力

講師：小谷竜介(東北歴史博物館主任研究員)、日高真吾

みんぱくウィークエンド・サロン—研究者と語そう

4月4日(日) 江戸将軍家が愛用した十日町の越後縮

—古文書の解読と光学撮影調査

講師：高橋由美子(十日町市博物館学芸員)
末森 薫(本館助教)

4月11日(日) 寺社・石碑データベースの可能性

講師：寺村裕史(本館准教授)

友の会講演会

3月6日(土) 災害を後世に伝える—記録・供養・教訓

講師：林 勲男(本館教授)

シンポジウム

5月2日(日) 多角的な視点から捉える地域の文化

—博物館における研究の可視化・高度化

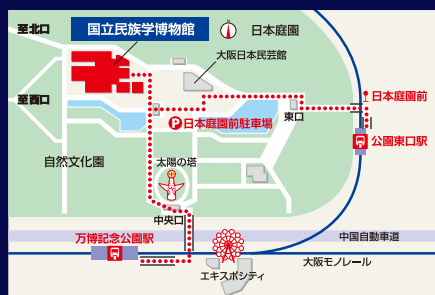
交通のご案内

- 大阪モノレール…「万博記念公園駅」、「公園東口駅」下車 徒歩約15分
 - バス…………… 阪急茨木市駅・JR 茨木駅から「日本庭園前」下車 徒歩約13分
 - 乗用車…………… 万博記念公園の駐車場(有料)をご利用ください。最寄りの「日本庭園前駐車場」から徒歩約5分
- ※大学生・一般の方は万博記念公園各ゲートで、当館の観覧券をお買い求めください。同園内を無料で通行できます。
※高校生以下の方は万博記念公園各ゲート有人窓口で、みんぱくへ行くことを申し出いただき、通行証をお受け取りください。
※万博記念公園をご利用になる場合は、同園入園料が必要です。

- みんぱく無料シャトルバス 会期中の土・祝日にみんぱく無料バスを大阪モノレール「万博記念公園駅」とみんぱくの間で運行します。運休日：平日、4月29日(木・祝)～5月9日(日) ※平日は運行していません。 ※万博記念公園でイベント開催の場合は臨時に運休することがあります。 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため運行がとやまになる場合があります。

ご来館のみなさまへ

新型コロナウイルス感染症の予防のため、会期・イベント等を変更・中止する場合があります。事前にホームページでご確認ください。また、オンライン予約での来館にご協力ください。



〒565-8511
大阪府吹田市千里万博公園 10 番 1 号
Tel: 06-6876-2151 (ft)
Fax: 06-6875-0401
www.minpaku.ac.jp/

関西から

文化力
POWER OF CULTURE